科目名	66.子どもと家族への看護				
履修年次	２年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	１単位 （２０時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	小児看護の対象について理解するために、病態生理や成長発達をふまえた思考過程を理解する				
到達目標	健康状態と成長発達をふまえた対象に必要な看護を表現することができる				
評価方法	筆記試験（50点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（50点）による総合評価を行				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学（１）　小児看護学概論・小児臨床看護総論　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学（２）　小児臨床看護各論　医学書院				
参考文献	発達段階からみた小児看護過程　第４版　医学書院 小児看護ー子どもと家族の示す行動への判断とケア　日総研				
教育方法と学生への期待(求めること)	他の看護学でも看護過程が並行して行われている時期の講義となります。なるべく講義内完結のスタイルで講義を行いますので、講義時間を大切に取り組んで欲しいです。他の看護学とは方法が少し異なりますので、最初の講義を良く聴いて取り組んでもらえると助かります。 また、小児病棟実習の前段階としての授業でもありますので、「９０分（記録の時間）で書く」と言うことも意識して欲しいです。そのためには参考文献を元に要約して書く力も身につけられるように努力しましょう！ 今年は「川崎病」と「IgA血管炎」の患児を受け持ちますので、事前に資料を図書室で集めておくと役に立つと思います。				
備考	全体の進度により、事例数を変更する場合があります				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	迅速型の看護過程の方法	迅速型看護過程の実際と方法	講義 演習
2	子どもの見方 アセスメント方略①	子どもと関わるときに発達段階を考慮する意味と理由	講義 演習
3	子どもの見方 アセスメント方略②	子どもが入院するとは　本人や家族に与える影響	講義 演習

4	子どもの見方 アセスメント方略③	子どものデーターの見方、情報の意味とは	講義 演習
5	子どもの看護過程①	事例①少ない情報でやってみる	講義 演習
6	子どもの看護過程①	グループワークを通して、アセスメントの視点と問題の明確化について話し合う 個人ワークで修正	講義 演習
7	子どもの看護過程②	情報を分析し、必要な看護を考えよう	講義 演習
8	子どもの看護過程③	情報を分析し、必要な看護を考えよう	講義 演習
9	子どもの看護過程④	情報を分析し、必要な看護を考えよう	講義 演習
10	子どもの看護過程⑤	情報を分析し、必要な看護を考えよう	講義 演習